

令和 3年 2月 26日

保護者 様

みやき町立 三根東小学校
校 長 中村 美枝子

令和3年度からの「成績評価の2期制（通知表の年2回発行）」の実施について

立春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。日ごろより、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことを心よりお礼申し上げます。

さて、現在、県内では、武雄市や嬉野市、白石町の全小・中学校、佐賀市の多くの小・中学校で「成績評価の2期制（通知表の年2回発行）」を行っています。今年度、みやき町内では、中原小学校が先行実施をしています。その結果を受け、みやき町内小学校3校でも話し合い、「できれば来年度から3校統一して実施できないか。」という意見となり、各学校で、まず、PTA役員の皆様にご説明させていただき、内容的にはご了解をいただきました。

これを受け、全保護者様に改めてご理解をいただくために、今回、この文書を配布させていただきました。来年度からの実施に向け、町内小学校で情報交換したり、連携・協力したりして準備を進めておりますので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 具体的な変更点について

- (1) 児童の成績評価の期間を、これまでの3学期制（1・2・3学期の各学期で評価）から2期制（前期4～9月、後期10～3月で評価）にします。
- (2) これに伴い、通知表での学習状況・生活状況のお知らせを、これまでの年3回（各学期末に通知表を発行）から年2回（9月末ごろと3月に通知表を発行）にします。
- (3) 小学校でこれまで行っていた1学期のまとめのテストを、前期のまとめのテストとして9月に実施します。
- (4) 今回の変更は、学習・生活の評価のみにかかわるもので、これまでの3学期制（4・9・1月に始業式、7・12月に終業式、3月に修了式）の変更はありません。

2. 変更の理由について

- (1) 現行の3学期は登校日が50日程度と短期間で、3学期の成績評価が十分に行えず、通知表の発行自体がやや形式的になってしまっている面があります。
- (2) 指導時数が少ない音楽や図工、家庭などのいわゆる技能教科については、演奏や作品制作等を含め、評価にある程度の期間が必要であり、現行の3学期制（成績の3分割）では無理が生じています。
- (3) 小学校の1学期末の成績処理は、実質、ゴールデンウィーク明けの5月中旬から7月初めまでの期間で評価するため、7月に入ってから通知表を作成することになります。1学期の終業式が7月20日（年によっては18日や19日）であることを考えると、7月は、担任がじっくりと児童にかかわったり、時間をかけて通知表作成を行ったりすることが難しい状況です。⇒裏面へ

- (4) 前期のうちの4月～7月までの学習・生活評価を夏季休業中に、後期のうちの10月～12月までの学習・生活評価を冬季休業に行うことで、じっくりと時間をかけて児童のよさや課題の確認、今後の手だての検討をすることができます。
- (5) 前期の評価を9月に実施することで、夏季休業等を活用した個別の指導や学習課題等による児童の学力の伸びを、今まで以上に評価結果に反映できます。また、後期も同様な方法で冬季休業等を活用することができます。
- (6) 成績2期制に合わせて学校行事やテストの時期を再検討することで、今まで行事等が組みにくかった7月や12月も活用することができます。このことで学校の教育活動全体にゆとりを生み出すことができ、通常の学習をこれまで以上に充実させたり、教師と児童がふれあう機会が増えたりすることで、よりきめ細かな指導ができるようになると思います。
- (7) 小学校では令和2年度から、新しい学習指導要領が完全実施となりました。今後、更に、新しい変革の多い時代に必要な資質や能力、児童が「何をどのように学び、何ができるようになるか」ということが強く求められます。そのためには、今以上に、基礎的・基本的な学習内容の着実な定着と思考力・判断力・表現力の習得が必要になってきます。このため、児童の成長を見る評価活動についても、十分な授業時数の確保を行った上で、評価の期間を長めに取り、より合理的・効果的なものに変更する必要があると思います。

3. 通知表の発行が2回になることの不安に対する対応について

- (1) 今まであった夏休み前の評価（通知表の発行）がないことで不安があると思います。そこで、4月～7月までの学習や生活による評価については、7月下旬に行う個人懇談会で具体的に資料を使って説明します。
- (2) 1学期末の評価がないことで、「夏休みにやる気をもって学習課題をしないのではないか。」というお考えの方もいらっしゃるかもしれません。しかし、個人懇談で4月～7月の学習評価はお知らせしますし、9月に前期のまとめのテストを行うため、夏休みの学習が大きく影響します。その結果は前期の評価に反映することになり、今まで以上に夏休みの学習が大切になってきます。
- (3) 年間のテストの回数が減るのではないかと考えられる方もいらっしゃるかもしれません。テストの時期や出題内容（出題範囲）については、若干変わるかもしれませんが、2期制の教育課程に応じた形で計画しますので、現在とそれほど大きく変わることはないと考えています。また、現在の評価の考え方は、テストの結果のみを評価するものではなく、日ごろの学習の様子やノート・ワークシート・作品等、学習課題の提出なども大切にしており、評価期間が長くなることで、よりきめ細かに評価できるものと考えています。